



平成 21 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 古河スカイ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉原 正照
 (コード番号 5741 東証第 1 部)
 問合せ先 取締役経理部長 長谷川 久
 (TEL. 03-5295-3800(代))
 当社の親会社 古河電気工業株式会社
 代表者名 取締役社長 吉田 政雄
 (コード番号 5801)

業績予想の修正、特別損失の計上、および剰余金の配当予想(中間配当)の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 8 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間および平成 22 年 3 月期通期業績予想を修正するとともに、特別損失の計上、ならびに平成 22 年 3 月期中間配当予想の修正について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	80,000	△5,800	△6,400	△6,400	△28.18
今回修正予想(B)	84,800	△5,700	△6,400	△8,300	△36.55
増減額(B-A)	4,800	100	0	△1,900	△8.37
増減率(%)	6.0	-	0.0	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	133,389	5,508	4,733	2,577	11.35

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	70,000	△5,400	△5,900	△5,900	△25.98
今回修正予想(B)	73,500	△5,400	△5,800	△8,000	△35.23
増減額(B-A)	3,500	0	100	△2,100	△9.25
増減率(%)	5.0	0.0	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	119,111	4,266	3,589	2,130	9.38

2. 平成 22 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	175,000	1,600	200	0	0.00
今回修正予想(B)	175,000	△2,100	△3,600	△5,800	△25.54
増減額(B-A)	0	△3,700	△3,800	△5,800	△25.54
増減率(%)	0.0	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	228,637	830	△584	△11,500	△50.64

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	153,000	1,500	300	200	0.88
今回修正予想(B)	151,000	△2,300	△3,300	△5,600	△24.66
増減額(B-A)	△2,000	△3,800	△3,600	△5,800	△25.54
増減率(%)	△1.3	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	200,967	△539	△1,551	△11,415	△50.26

3. 業績予想修正の理由

第2四半期累計業績は、後述の板圧延事業構造改革費用の特別損失計上を除いてはほぼ計画通りに推移する見込みですが、年度後半に見込んでいた液晶・半導体製造装置向け厚板など一般内需の回復が予想を下回る見込みとなったこと、また地金ポジションの好転も当初見込みより遅れるなど事業環境は厳しく推移しております。このため緊急対策として固定費の削減をはじめとした諸施策を実行すると共に、更なる販売拡大を図り収益改善に努めておりますが、通期の営業利益・経常利益は当初予想達成が難しくなりました。また、次に述べる板圧延事業構造改革費用の引当計上（特別損失）も加わる結果、通期の当期純利益は当初計画を下回る見込みとなりました。

4. 特別損失の計上について

当社は、経済環境の変化などへの柔軟な対応を図り、強固な収益体制を確立することを目的に、板圧延事業の構造改革を進めております。これに伴う設備廃棄や遊休化などに係る構造改革費用を、当第2四半期決算において特別損失として20億円計上する予定であります。

5. 平成22年3月期第2四半期末 剰余金の配当予想修正について

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年5月8日発表)	未定	未定	未定
今回修正予想	0円00銭	未定	未定
当期実績	—	—	—
前期(平成21年3月期)実績	4円00銭	2円00銭	6円00銭

修正の内容

当社は配当につきましては、利益還元の重要な施策と位置づけ、業績に対応することを基本方針としております。

前回5月8日公表時におきましては極めて経営環境が厳しく当社グループの業績の見通しも不透明であることから平成22年3月期第2四半期末(中間)、通期末とも未定としておりましたが、第2四半期末(中間)の配当金につきましては、今回の業績予想に鑑み誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。なお期末配当金については、現時点では引続き未定とさせていただきます。平成22年3月期の決算発表までには公表する予定ですが、決定次第速やかにお知らせいたします。

当社といたしましては、収益基盤の再構築を実行すべく諸施策を実行し業績回復に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましてはご理解を賜りますようお願い申し上げます。

(注)上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上